

# 仕様書

この仕様書は、山武郡市広域行政組合（以下「発注者」という。）が発注する山武郡市広域斎場待合室（１・２号室）空調設備更新工事に適用する。

## 1 概要

- (1) 工事件名 山武郡市広域斎場待合室（１・２号室）空調設備更新工事
- (2) 工事場所 千葉県東金市堀上１３５７番地 山武郡市広域斎場
- (3) 工期 契約締結日の翌日から令和６年１０月３１日まで
- (4) 工事目的

本工事は、当斎場に設置されている待合室（１・２号室）空調設備及び配管等の更新を行い、空調設備の機能改善を図ることを目的とする。

## 2 適用範囲

本仕様書は、本工事の基本的内容について定めるもので、本仕様書に明記されていない事項であっても、当然必要と思われる設備及び部材については、原則として受注者の責任において用意し施工するものとする。ただし、発注者及び受注者とも事前に予知できない事項、多額の出費を伴う事項については、発注者と協議の上決定するものとする。

## 3 工事管理

受注者は本工事実施に際して、次の事項を遵守する。

### (1) 資格を必要とする作業

資格を必要とする作業は、それぞれの有資格者を持って作業をしなければならない。

### (2) 安全管理

受注者は、施工に当たっては常に細心の注意を払い、労働安全衛生法（昭和４７年法律第５７号）等を遵守し、公衆及び従業員の安全を計らなければならない。

また、本工事作業中に発生した事故等は全て受注者が責任をもって解決する。

## 4 資料の貸出し

- (1) 本工事实施のために必要な図面及び関係資料等は、受注者の要望があれば、発注者が受注者に貸与するものとする。
- (2) 受注者は資料等の貸与を受ける場合は、そのリスト等を作成し、発注者の承認を受けることとする。また、工事完了後、貸与された資料は速やかに全て返却しなければならない。

## 5 報告

受注者は、発注者から工事進捗状況等、工事の適正な施工を確保するために必要な事項について報告を求められた時は、速やかに報告するものとする。

## 6 保証期間

本工事の完成引き渡し後において1年間を保証するものとする。ただし、メーカー保証が1年を超える場合は当該メーカー保証期間とする。施工に関する内容がメーカーの保証に含まれない場合は、受注者が最低1年間無償保証する。

## 7 工事内容

### (1) 撤去内容

三菱重工業株式会社製 ガスヒートポンプエアコン

G H C P 3 5 5 H M T 6 - N (パネル及びリモコンを含む) 1台

### (2) 新設内容

ダイキン工業株式会社製 ガスヒートポンプエアコン

室外機 G Y B P 3 5 5 G 1台

室内機 F G X F P 9 0 E A 4台

(パネル及びリモコンを含む)

設置に当たり、必要となる機器、消耗品は受注者が用意し搬入据付、配管、電気工事も実施するものとする。

### (3) 設置箇所

既設設備と同じ設置箇所とする。詳細は別添1F平面図のとおり。

## 8 基本要品質

- (1) 本工事で設置する機器及び付属品等は「7 工事内容」に記載されているもの又は同等品以上のものとする。
- (2) 本仕様書に記載のない材料はJIS規格によるものとする。

## 9 施工一般

- (1) 施工の各段階において、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。
- (2) 本工事の施工に当たっては事前に監督職員と十分な打合せを行い、仕様書に記載のない事項については監督職員の指示に従うものとする。

## 10 施工条件

- (1) 閉場日(友引日)午前9時から午後5時までの間で施工するものとする。
- (2) 火葬業務及び斎場利用者に影響の無い作業は、開場日でも可とする。作業時間は前項に準ずる。
- (3) 本工事施工に必要な電力及び用水は原則として発注者から支給する。
- (4) 養生

近接する他の部材や建物を汚損しないように、ビニール張り、板囲い、シート掛け等の適切な養生を行うものとする。

### (5) 仮設

#### ア 仮設材料

仮設に使用する材料は、使用上差し支えないものとする。

#### イ 足場その他

足場等は労働安全衛生法その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。

### (6) 新設機器の設置

#### ア 室内機等の設置

リモコンは水平かつ堅固に設置する。

#### イ 室外機の設置

- (1) 室外機は、水平にかつ地震力により転倒、横滑りを起こさないように架台に固定する。

- (1) 室外機用架台は新たに設置する。

### (7) 配管工事、電気工事、保温工事

#### ア 配管工事

- (1) 配管は既設のものを使用する。ただし、現地調査の結果、再使用に適さないことが判明した場合は、受注者の負担で補修や交換等の適切

な対応を行う。この場合、既設と同等以上の性能を持つものとする。

- (イ) 配管の施工に先立ち、事前調査を十分に行い、既設設備との関連事項を詳細に検討し、勾配、接続位置を考慮してその他への影響を及ぼさないよう施工する。
- (ロ) 既設配管との接続に際しては、事前に既設配管の系統及び流体の種類について確認を行う。
- (ハ) 配管工事によって壁面に損傷を及ぼした場合は補修を行う。

#### イ 電気工事

空調機器用配線は既設のものを使用する。ただし、現地調査の結果、再使用に適さないことが判明した場合は、受注者の負担で補修や交換等の適切な対応を行う。この場合、既設と同等以上の性能を持つものとする。

#### ウ 保温工事

- (ア) 管等で屋外に露出する部分は保護する。
- (イ) 保温材相互の間隙はできる限り少なくし、重ね部の継目は同一線上を避けて取り付ける。

#### (8) 総合調整

各設備における装置全体の施工完了時に試運転及び各種試験調整を行い、結果を報告しなければならない。試験項目はメーカー推奨のものとする。既設配管等を再使用した場合も、これらに係る試験調整を行うこと。試験調整の結果、不合格となった場合は必要な処置を行い、再度試験調整を行わなければならない。

#### (9) 後片付け

工事の完成に際し、受注者は建築物等の内外の後片付け及び清掃を行う。

#### (10) 撤去

##### ア 冷媒ガス回収及び処分

既存機器の撤去を行う前に冷媒ガスを回収し、回収した冷媒ガスは、関係法令に基づき適正に処分を行うものとし、その証明書を1部提出すること。

##### イ 既設機器等の撤去

既設機器および附属部品等の撤去を行うこと。

(11) 発生材の処理等

ア 関係法令に従って適正に処分を行うこと。

イ 産業廃棄物の処理は、収集から最終処分までをマニフェスト交付を経て適正に処理すること。

11 提出書類

受注者は、施工前並びに完成に当たり次の書類等を提出するものとする。

(1) 施工前提出書類

ア 着手届 1 部

イ 工程表 1 部

ウ 現場代理人届 1 部

エ 主任技術者届 1 部

(2) 完了後提出書類

ア 業務完了届兼検査願書 1 部

イ 報告書類 1 部

※ 工事施工進捗の分かる写真（デジタルカメラ編集可）を編冊の上、提出すること。

ウ 設置した各機器の仕様等の詳細が記載された資料 1 部

エ その他、発注者が指示するもの

12 その他

この仕様書に定めない事項については、発注者と受注者で協議の上、定めるものとする。